

研究助成対象課題題目

◆2015 年度（7 件）

- 1) ヒト型ロボットによる認知症患者の認知機能の改善効果の検討
- 2) 大規模健康成人コホートをを用いた睡眠状況の免疫解析と職域における生活指導へのフィードバック
- 3) II 型糖尿病患者を対象とする行動タイプ別アプローチを加えたライフスタイル改善プログラムの効果の評価
- 4) 社会保険労務士を媒介者とした中小企業へのメンタル対応支援方法の開発と施行
- 5) 助産院における産後ケア提供の構築とその効果の検討
- 6) 大学生・大学院生を対象とした「新型うつ病」の現状把握とその対策
- 7) 子育ておよび就業が女性の健康に及ぼす影響

◆2016 年度（9 件）

- 1) OCT を用いた早期認知症の発見と予防に関する研究
- 2) 地方中核都市における歯周病と循環器疾患の関与を解明する大規模臨床疫学研究
- 3) 役職者の統合失調症に関する知識・意識の現状と一次予防としての統合失調症教育啓発プログラムの検討
- 4) ストレスチェック制度の有効活用に向けた勤労者の精神疾患発症リスクに関連する神経心理学的特性の検討
- 5) 妊娠糖尿病と診断された分娩後女性の糖尿病発症予防のための効果的な健診方法の検討
- 6) ロコモティブシンドロームおよびメタボリックシンドロームを関連付けた効果的な予防対策の検討
- 7) 膵臓がんマーカー・可溶性プロレニン受容体の標準品を作る
- 8) 高齢者向け健康増進施設において導入可能な簡便かつ正確な立位・歩行機能評価方法の開発
- 9) 看護労働者における腰痛発症の予防を目指した移乗介助技術プログラムの開発

◆2017 年度（9 件）

- 1) 脳の神経生理学的プロファイリングによるメンタルヘルスチェックアップシステムの開発
- 2) 助産師と産科医師の分娩に関する心理的ストレスの研究
- 3) 血中インスリン濃度の測定は、運動時の過剰血圧応答を予測できるか？
- 4) 騒音性難聴のなりやすさの高精度な推定技術の開発
- 5) 中小企業のメンタルヘルス一次予防のための活動に必要な産業看護職の支援体制の構築に関する研究

- 6)睡眠管理が認知症症状にもたらす影響の検討
- 7)従業員の健康は、朝、鏡を見ただけでチェックできる
- 8)精神疾患による病欠出勤(presenteeism)を生じる要因の網羅的研究
- 9)ウェアラブルセンサーを用いたメンタルストレスの早期発見

◆2018 年度（8 件）

- 1)スマートフォンアプリによる若者のヘルスリテラシー向上の実証研究 ～メンタルヘルスの改善を目指して～
- 2)中小企業被雇用者に対する一般健康診断の有効性の評価
- 3)病院看護職のメンタルヘルスケアに貢献する光触媒型・病院臭気装置の開発
- 4)「咀嚼」に着目した転倒リスク評価システムの開発と運動器機能向上プログラムへの応用
- 5)介護職員と利用者との関係によるストレス:利用者によるハラスメントの内容ならびに程度と介護職員の利用者理解との関連に焦点を当てて
- 6)就労妊婦の健康と生産性を両立させた働き方モデルの構築
- 7)職場におけるメンタルヘルス不調を予測するバイオマーカーに関する研究
- 8)壮年期労働者における地域・職域でのロコモティブシンドローム一次予防に向けた下肢筋力指標の開発 ～30 秒椅子立ち上がりテスト(CS-30)の信頼性・妥当性・実用性の検討～

◆2019 年度（10 件）

- 1)20 歳代女性に対する子宮頸がん検診を促す Information Technology(IT)を取り入れた教育プログラムの効果検証
- 2)ポジティブ心理学に基づく「漸進的使命感」尺度を用いた面接技法の開発～勤労者に対するパイロットスタディー～
- 3)可溶性(プロ)レニン受容体のタイプ別定量法の確立
- 4)技能実習生のストレスおよび受け入れ企業における支援
- 5)働く世代の慢性腎臓病発症予測モデルを大規模データから構築する
- 6)産業看護診断の開発過程における診断指標の内容妥当性の検証～DCV モデルおよびデルファイ法を用いて～
- 7)就労女性に対する更年期症状マネジメントプログラムの開発
- 8)高齢期における死別が食生活に及ぼす影響:5 年間の縦断研究
- 9)日本の労働者を対象とした職場における疾患横断的な抑うつ・不安症状予防インターネットプログラムの開発
- 10)気分状態見える化 IoT アプリの活用による、非特異的慢性腰痛・ストレス関連疾患の制御